

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 bee.for kids

公表日 2025年4月 11 日

利用児童数 44

回収数 25

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	3		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	6	先生たちの顔写真が欲しい。以前は頂いていました。	お申し付けがあればお渡しいたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3	1	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	0	都度意見を聞いて下さり適切な取り組みをしていただけていると思います。	引き続き、ニーズに応じた支援を提供してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	3	16		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	4	11		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22	1	0	2		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	11	11		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをされた際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	0	4			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2025年 4月 11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容に応じて、パーティションでエリアを区切るなど、構造化の工夫を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		国が示している人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。また、保育士、小学校教諭、言語聴覚士など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		建物の構造上、お子様に階段をご利用いただく場面がありますが、その際は職員が必ず付き添い、安全性を確保しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		ご利用者の活動に応じて使う部屋を分けています。また毎日清掃をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室の他、パーティションを設置しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業所としての目標を設定し、より良い支援を提供できるよう努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表を活用し、保護者の方の意向の把握に努めて参ります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		1on1のほか、全体会議、日々の振り返りなど、意見を収集する機会があります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		現在、第三者による外部評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		オンライン研修を中心に、各職員が自己研鑽に努めております。また、研修で学んだ内容は他職員にも周知し、職員全体の資質向上に努めています。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ご利用者のニーズや課題分析、評価バッテリーの使用により作成し、取り組み内容については連絡帳にてお知らせしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個別支援計画の見直し時期に面談をご提案しております。計画見直し時期に限らず、保護者様から要望があれば随時対応いたします。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ケース会議や日々の会議により、全社員の意見を参考に、担当者が検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		放デイ全職員でのケース会議での意見の交流をもとに、児童発達支援管理責任者と担当者が計画を作成しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントシートを活用し、見学・体験時の保護者面談にて、お子様の状況や課題、保護者様のニーズ等のアセスメントを行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		「本人支援」の5領域に加え、ご家庭・学校での過ごし方やお友達との関わり方を考えられるような支援内容を設定しています。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		アセスメントシートを活用し、見学・体験時の保護者面談にて、お子様の状況や課題、保護者様のニーズ等のアセスメントを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		個別療育とプログラミングを活動プログラムの主軸とし、その中で、お子様ひとりひとりに応じた課題設定をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別と集団とで活動に関連を持たせ、一貫性のある支援に努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼にて毎日実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼にて毎日実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		文字による記録だけでなく、写真や動画も活用することで、言葉だけでは伝えにくい実際のリアルな様子も記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングを実施しております。利用初期のお子様に対しては2~3ヶ月で1回目のモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		ガイドラインに基づいた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		利用者が自ら考えて約束を取り決めたり、課題を本人が選ぶなどの機会を設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管、児童指導員、保育士、言語聴覚士等、専門的な助言ができる職員で行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			医療機関との連携や、学校園へ意見をお伝えすることはあります。学校園との情報の交換を今後の課題としていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校行事や下校時間の確認等については、主に保護者様と情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて連携させていただきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			現在はまだ実績がございません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			必要に応じて連携させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			交流の機会は設けるよう図って参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		児童発達管理責任者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や連絡帳を通してお子様の状況をお伝えしております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		面談等で支援員がお子様と関わる上で心掛けていることを保護者にお伝えしています。	家族支援プログラムに関しては今後、企画を検討して参ります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に説明を行っております。また、不明点があれば随時ご説明するようしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		普段はご利用者様本人に意向を確認し、面談や引き渡し時に保護者様のご要望を伺っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談で方針をご提案、ご了承いただき支援計画書を作成しております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		お迎え時や面談の際に対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		状況を見ながら、今後検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		受付窓口について、利用契約時にご説明させていただいております。苦情があった場合は苦情受付・解決担当につなげ迅速かつ適切に対応するよう努めています。また事業所内で共有し再発防止に努めて参ります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		SNS（ブログ・インスタグラム）にて活動の様子を随時発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		様々なツールを活用しながら分かりやすい伝達方法を工夫しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		状況を見ながら、今後検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを策定し、職員間での訓練を定期的に変更しています。	保護者への周知について、情報発信を強化して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		職員間で定期的に避難経路・場所・持ち物・役割について確認、訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		ご利用開始前の聞き取りに加え、日々の連絡帳などご利用者様の状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者さまからいただいた情報を基に、対応させていただいております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		防犯・防災の担当者を中心に研修及び訓練を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		SNS等で安全に関わる取り組みについて発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが発生した際はその都度事例を記録しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会を設置し、定期的な職員研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現在、身体拘束が必要なお子様の在籍がないため、現段階では記載しておりません。身体拘束に関しては、お子様の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としております。		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	bee.for kids		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 3月 25日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各お客様の特性を十分に理解し、それに応じた専門性のある支援個別療育による各お客様オリジナルの活動内容の個別療育によるご提供。	毎日個別療育での取り組みの振り返りを行なっています。その会議において、お客様の課題解決に向けた取り組みのアイデアや情報の交換をしております。担当支援員1人の力だけでなく、放デイの支援員全員でプログラムを作り上げております。	お客様の苦手の原因を探るために、評価バッテリーを導入し運用を開始しました。また、支援員全体で課題分析を行い、より細やかな支援を目指します。楽しく苦手ポイントの克服に取り組めるよう、アイデアの共有を促進します。
2	個別療育、プログラミング療育、集団療育の療育形態の提供。個別療育で学び、練習しているソーシャルスキルの実践の場としても活用できている。	プログラミング療育や集団療育の中で見えた課題について、個別療育で本人と振り替えるなど、各療育を連携させて総合的に支援しています。	個別療育担当者が設定した、プログラミング療育や集団療育で取り組むべき課題やテーマの共有をより密にしていきます。各療育を双方向に連携させて支援していきます。
3	ご利用者様に安心感を持って通所いただいている。	保育士、作業療法士、幼稚園・小中学校教諭と言った多様な有資格者を配置しています。全支援員がそれぞれの経験や専門領域を活かし、お客様の意思を尊重し、丁寧に気持ちを聞き取りながら活動を提供しています。	外部研修、DVD教材による社内研修、OJT等を通して、さらなる支援員教育の推進を図ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の団体等、他児童との交流の機会の提供。	個別療育を中心に、事業所内での療育活動の充実を図っているため、他団体の児童との交流の機会を作れていない。	各季節ごとに行っているイベント等を活用して、地域の人々との交流の機会にできないかを、検討していきます。
2	保護者会の開催・ペアレントトレーニング等、保護者同士の交流の場の提供。	面談等で保護者様とお話しする際に、支援員としての関わり方をお伝えはしているが、保護者参加型の研修や交流の機会は営業日や営業時間の都合等があり開催できていない。	営業日や営業時間等の課題をクリアしつつ、機会の提供ができないかを、引き続き検討していきます。
3			